

### 3-9 関東地域における坂田式三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果 (2000年5月から2000年4月まで)

#### Results of Continuous Observation by Sakata-type Three-Component

#### Strainmeters and IBOSes in Kanto District(from May, 2000 to April, 2001)

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

前報<sup>1)</sup>に引き続き、最近の観測結果について報告する。

第1図及び第2図は、坂田式三成分ひずみ計八郷1号機及び2号機による、2000年5月からの最近1年間のひずみ変化を6か月間毎に表したものである。第3図は甲府による同様のものである。前回と同様に今回もひずみ変化の観測結果を直接表示している。E1D, E2D, E3D及びDIL, SMAXの意味については以前の連絡会報<sup>2)</sup>を参照してほしい。ただしこの中で、「線ひずみ」とあるのは正しくないので、遅ればせながらすべて「ひずみ」に訂正する。

八郷1, 2号機においては、今までと同様にほぼ一様な収縮が継続している。しかしながら両機ともこの4月中旬からE1D成分が伸びに反転し、逆にE2D成分はやや縮みが増し、結果的にはDIL成分は膨張に転じている。後には本来の収縮に復帰するのであるが、4月から5月にかけてのこのような観測結果は今までも何例か得られている。この現象を調査するために、後になって傾斜計を併設したのであるが、今回の傾斜計の記録(第2図下部)にはこれに対応する変化は見られない。雨の影響とも考えられないので、実に興味深い現象である。第2図から、八郷の傾斜計は降雨による影響をあまり受けていないといえるようである。

甲府では、全体としては収縮が継続している。9月の降雨の影響が著しい。

第4図、第5図及び第6図は、玄倉、平塚及び真鶴のIBOSによる最近1年間の観測結果である。ただし玄倉の11月の記録は都合により省略してある。降雨の影響が玄倉において著しいのは、いつものことである。夏から秋にかけての降雨の影響からの回復過程が、その後の冬から春にかけてのゆったりとした変動に顕著に現れている。

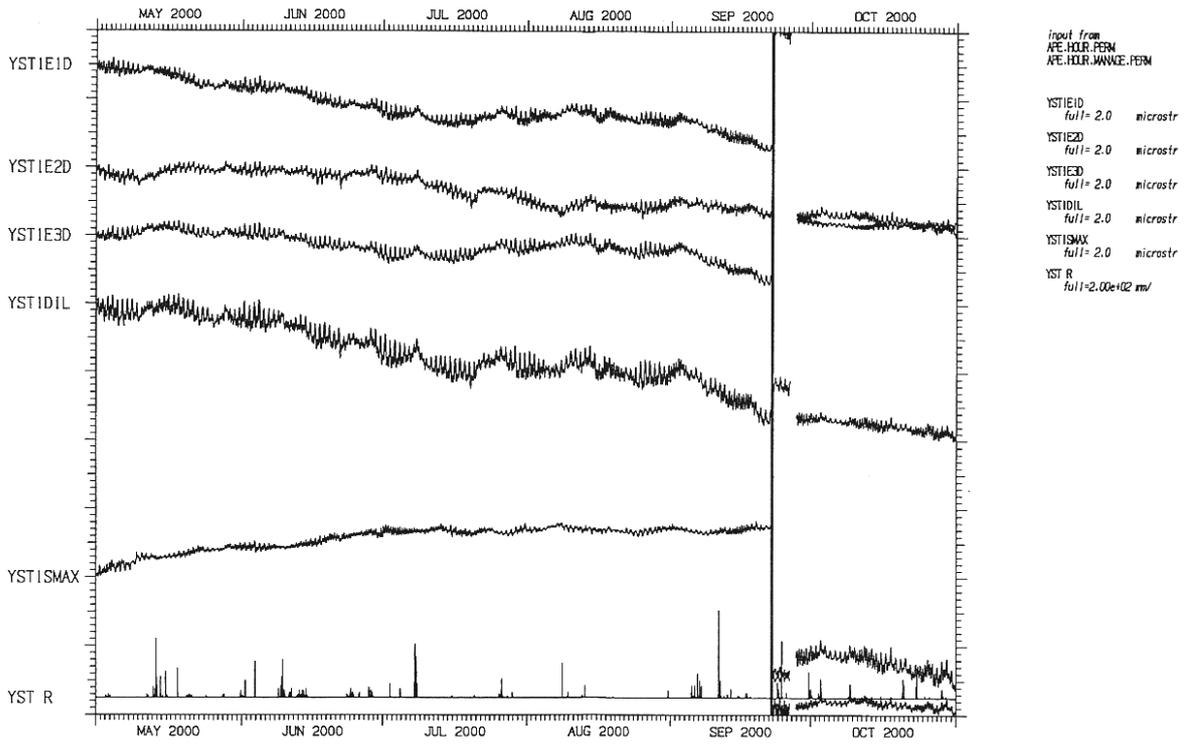
平塚においても、秋にひずみと傾斜が大きな変化を示しているが、降雨と気圧変化によるものである。

真鶴ではひずみ計が、例年になく不規則な変動を記録しているが珍しいことである。海況の変化によるものかも知れない。二次クリープ(定常クリープ)による変動はまだ認められる。傾斜計には大きな変動は見られない。  
(坂田正治)

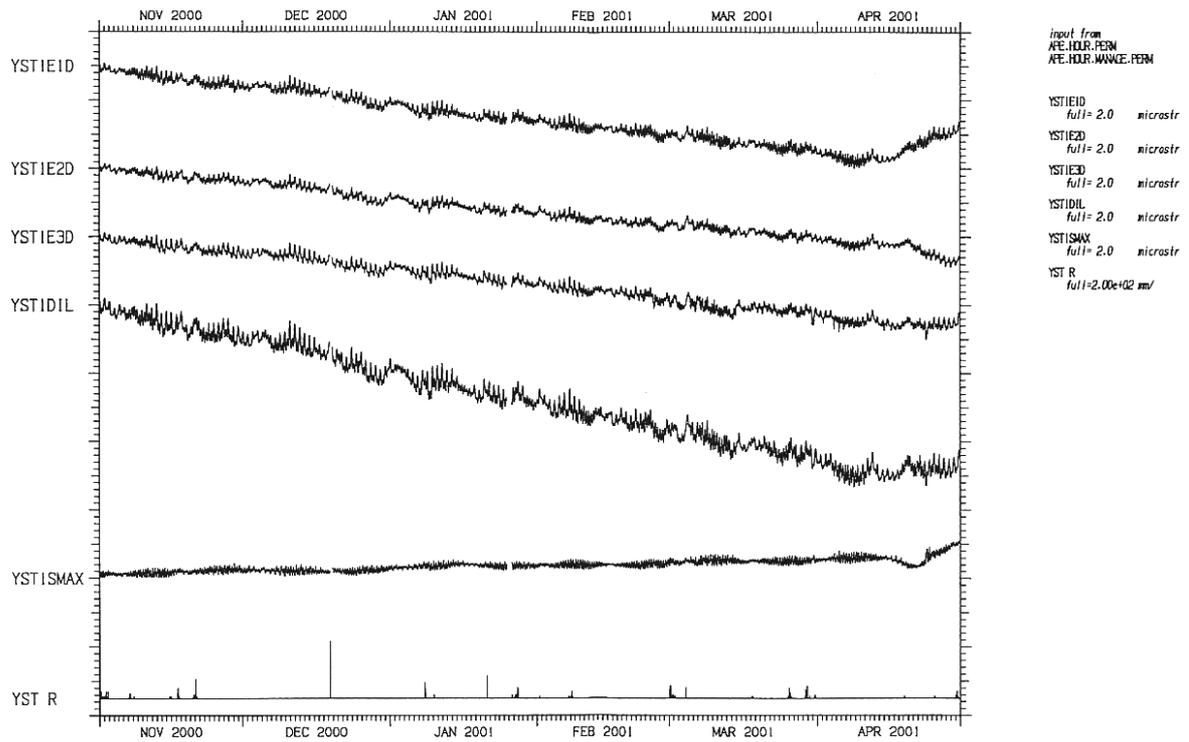
#### 参 考 文 献

- 1) 防災科学技術研究所: 関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果(1999年5月~2000年4月まで), 連絡会報, 64 (2000), 151-157.
- 2) 防災科学技術研究所: 関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果(1994年3月まで), 連絡会報, 52 (1994), 199-206.

YST1 20000501 00 - 20001101 00 HOURLY DATA



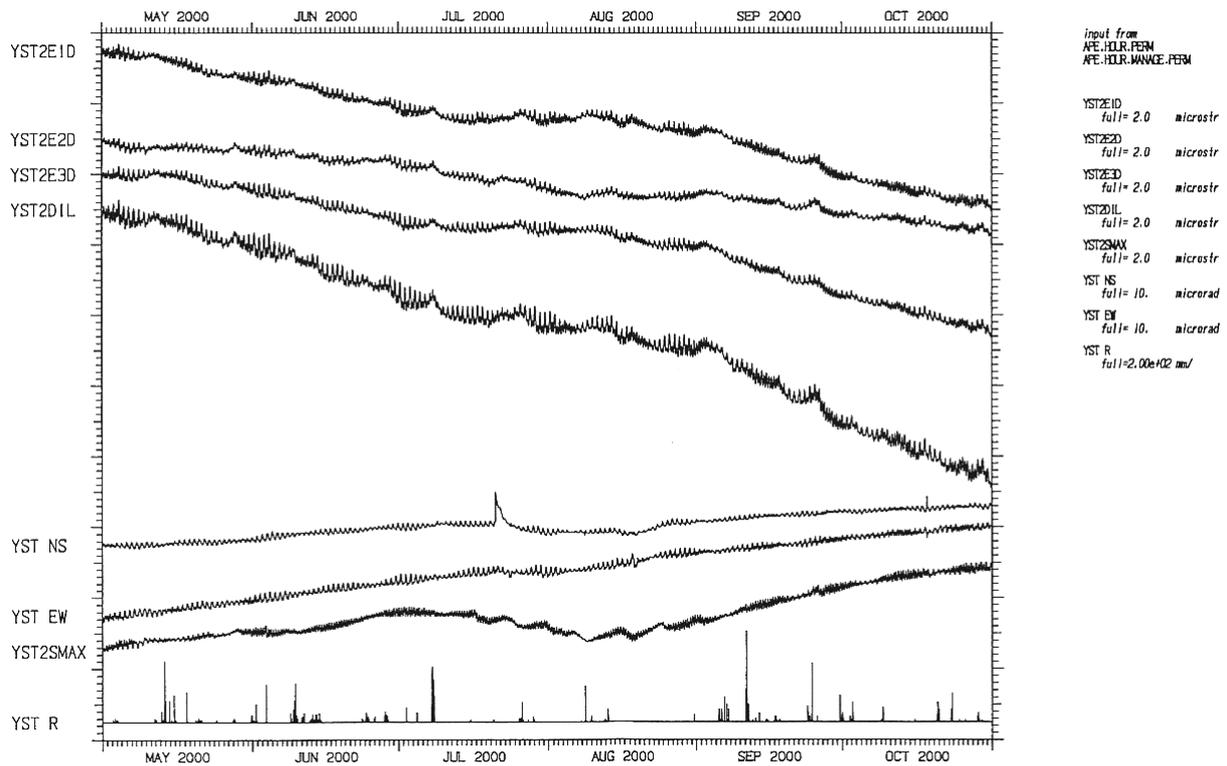
YST1 20001101 00 - 20010501 00 HOURLY DATA



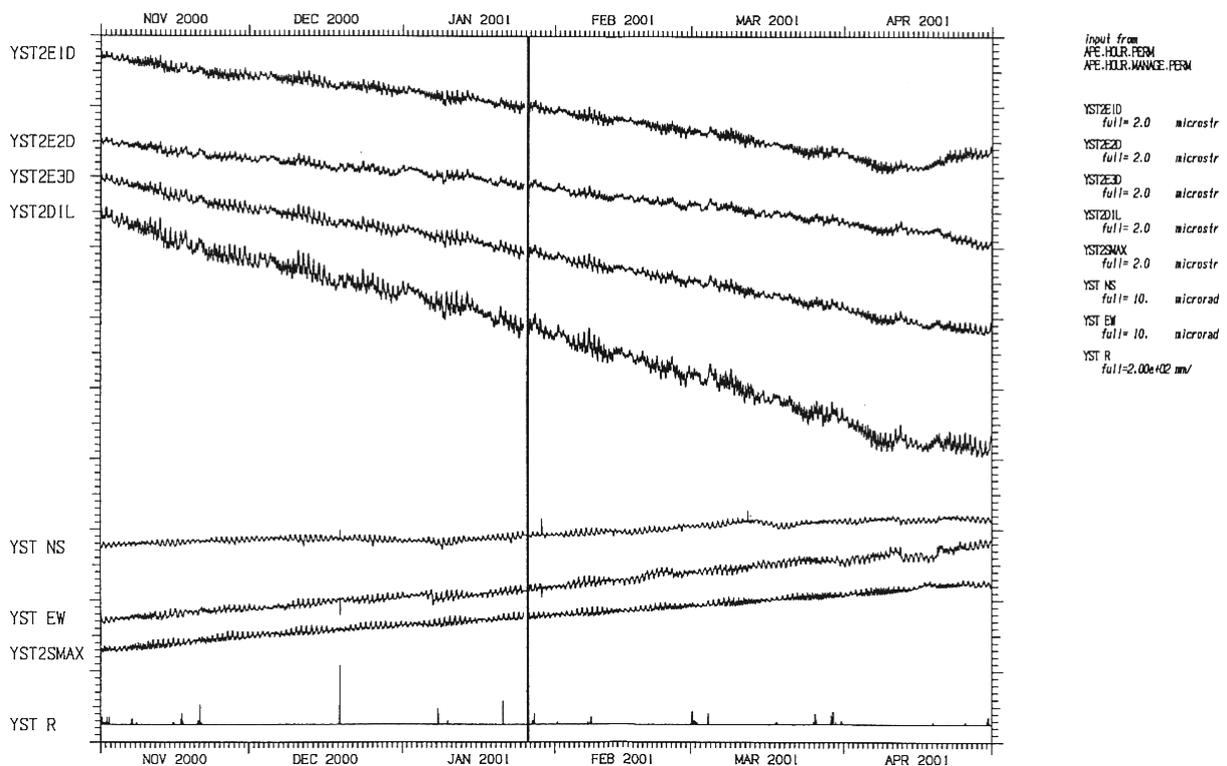
第1図 八郷の三成分ひずみ計1号機による連続観測結果 (2000年5月~2001年4月)

Fig.1 Record of continuous observation by No1 three-component strainmeter at Yasato, E1D, E2D, E3D: strains along N00E, N60E, N120E, DIL: dilatation, SMAX: maximum shear, R: precipitation.

YST2 20000501 00 - 2001101 00 HOURLY DATA

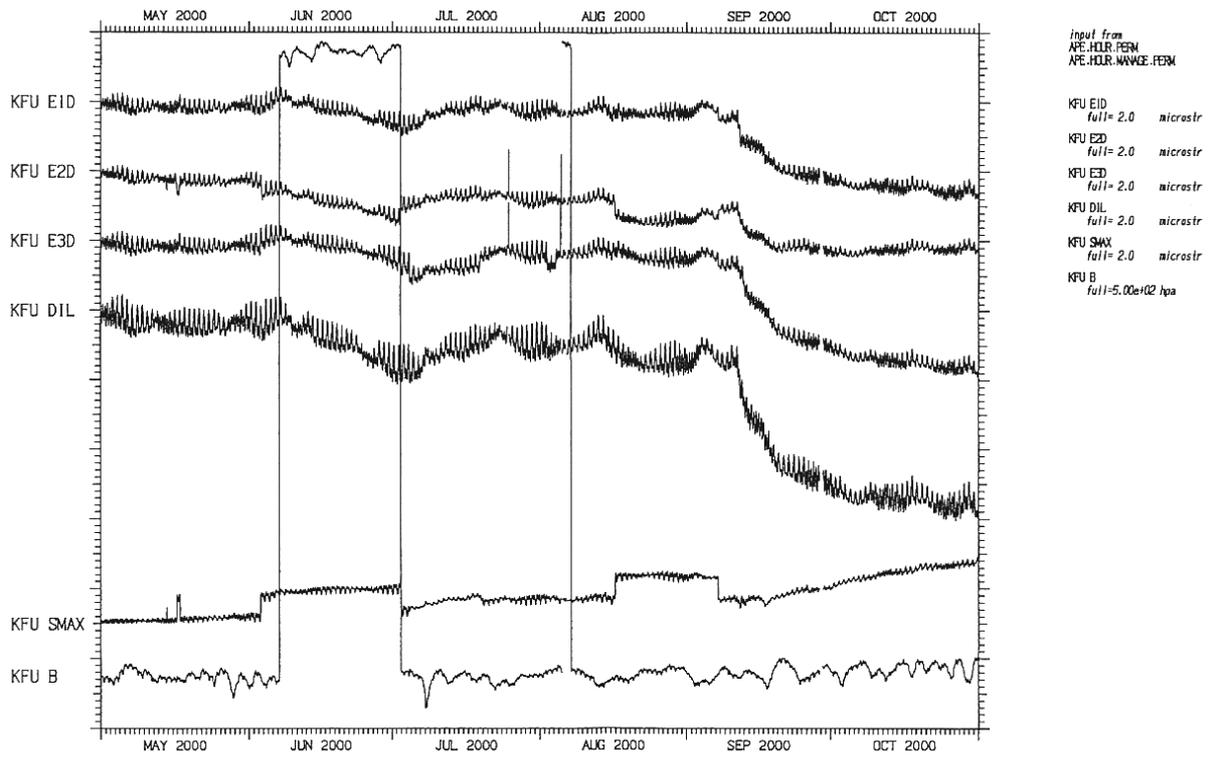


YST2 2001101 00 - 20010501 00 HOURLY DATA

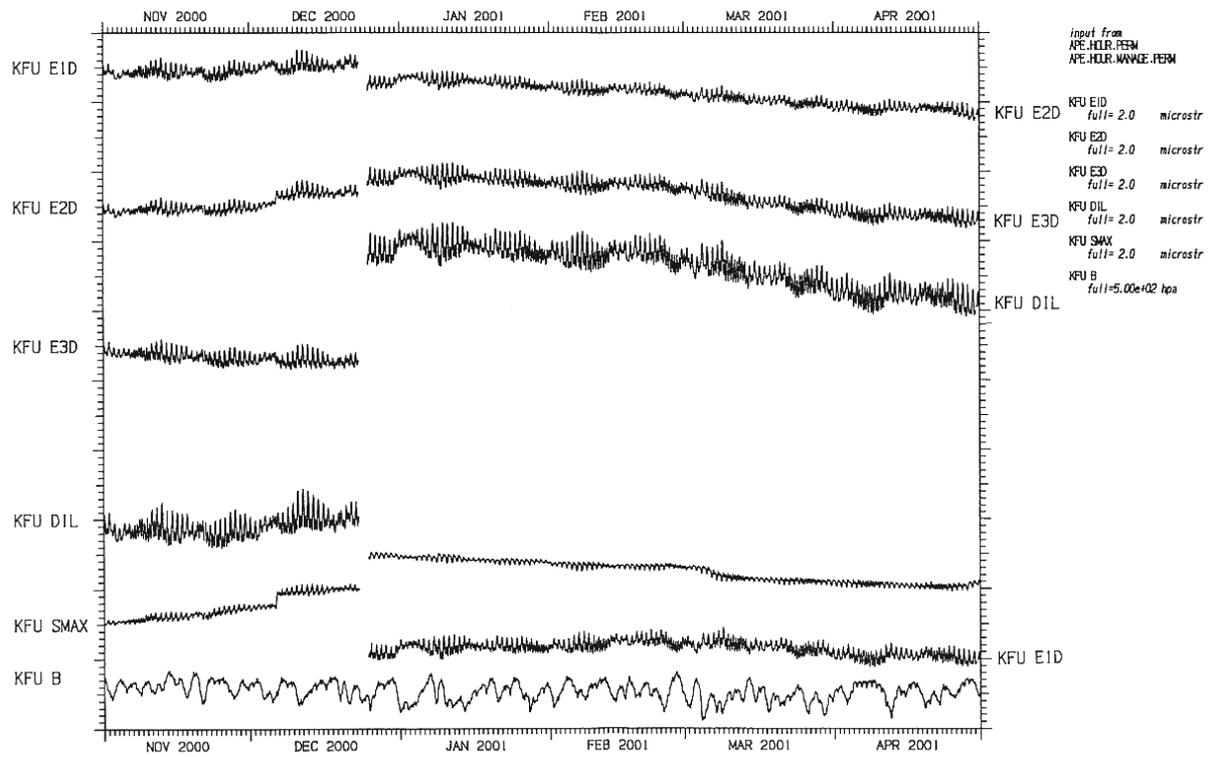


第2図 八郷の三成分ひずみ計2号機及び傾斜計による連続観測結果（2000年5月～2001年4月）  
Fig.2 Record of continuous observation by No2 three-component strainmeter and a tiltmeter at Yasato, NS, EW: tilt components.

KFU 20000501 00 - 20001101 00 HOURLY DATA



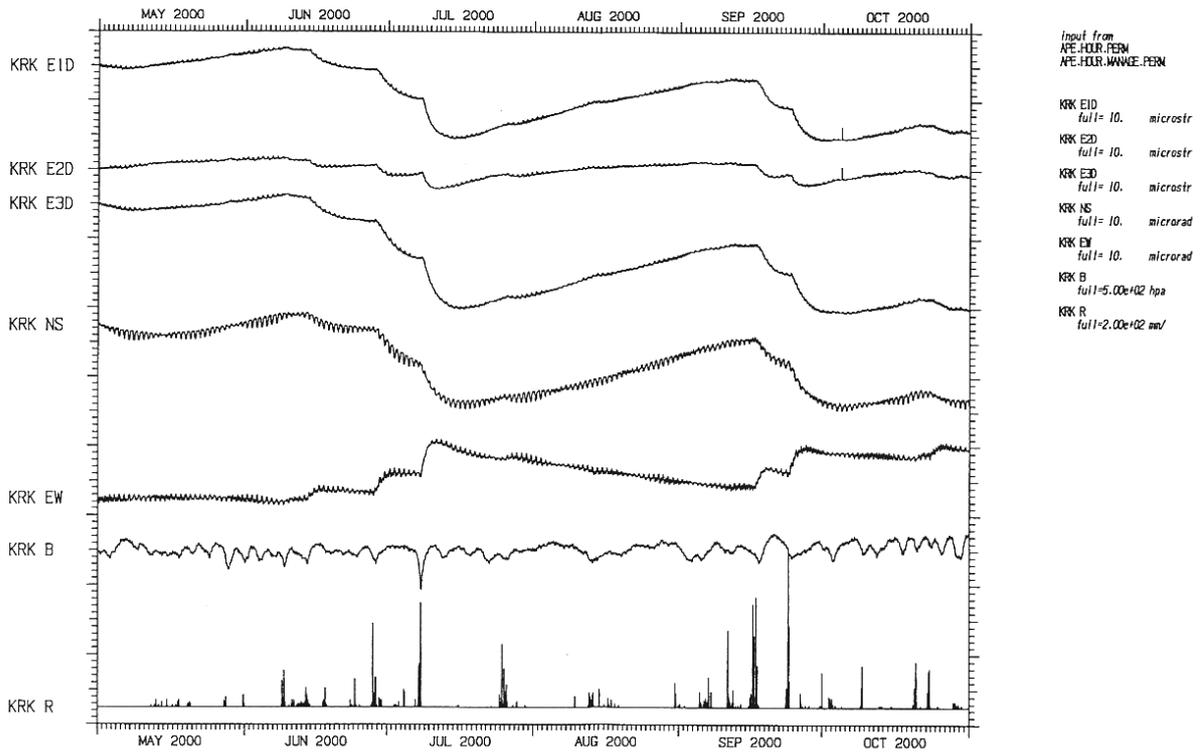
KFU 20001101 00 - 20010501 00 HOURLY DATA



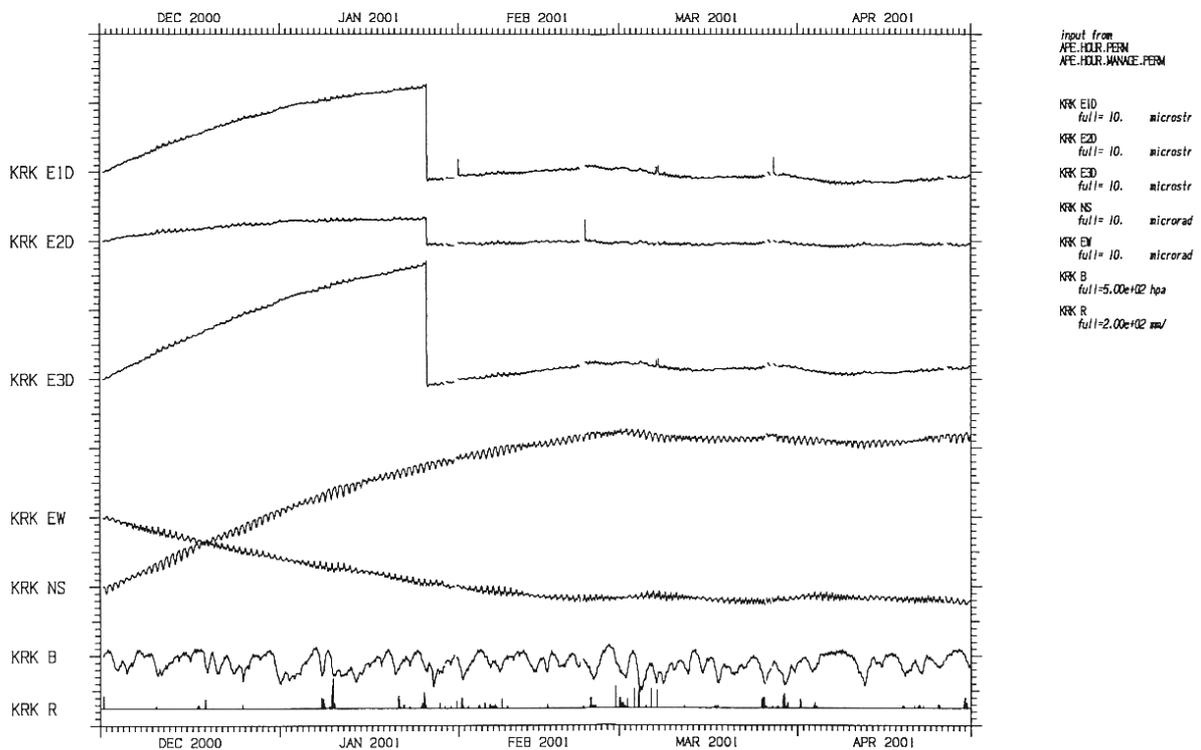
第3図 甲府の三成分ひずみ計による連続観測結果 (2000年5月~2001年4月)

Fig.3 Record of continuous observation by the three-component strainmeter at Kofu, B: atmospheric pressure.

KRK 20000501 00 - 20001101 00 HOURLY DATA



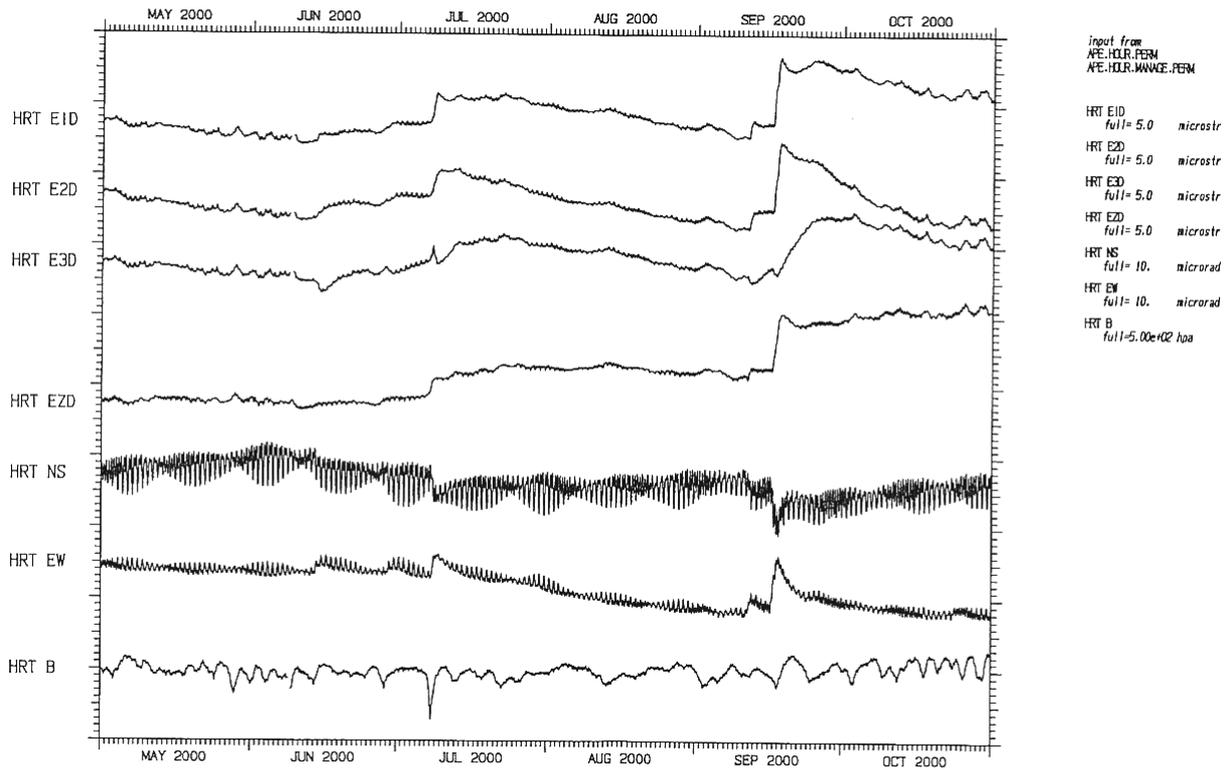
KRK 20001201 00 - 20010501 00 HOURLY DATA



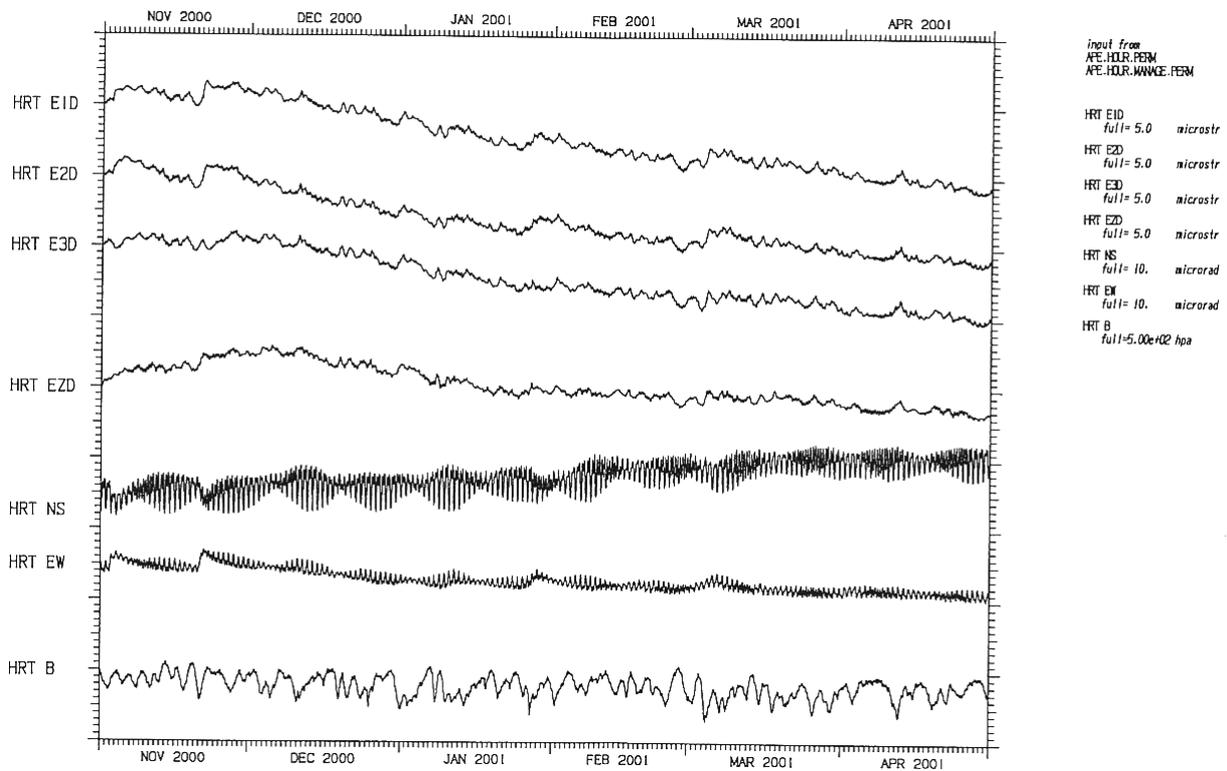
第4図 玄倉のIBOSによる連続観測結果 (2000年5月~10月, 2000年12月~2001年4月)

Fig.4 Record of continuous observation by IBOS at Kurokura.

HRT 20000501 00 - 20001101 00 HOURLY DATA



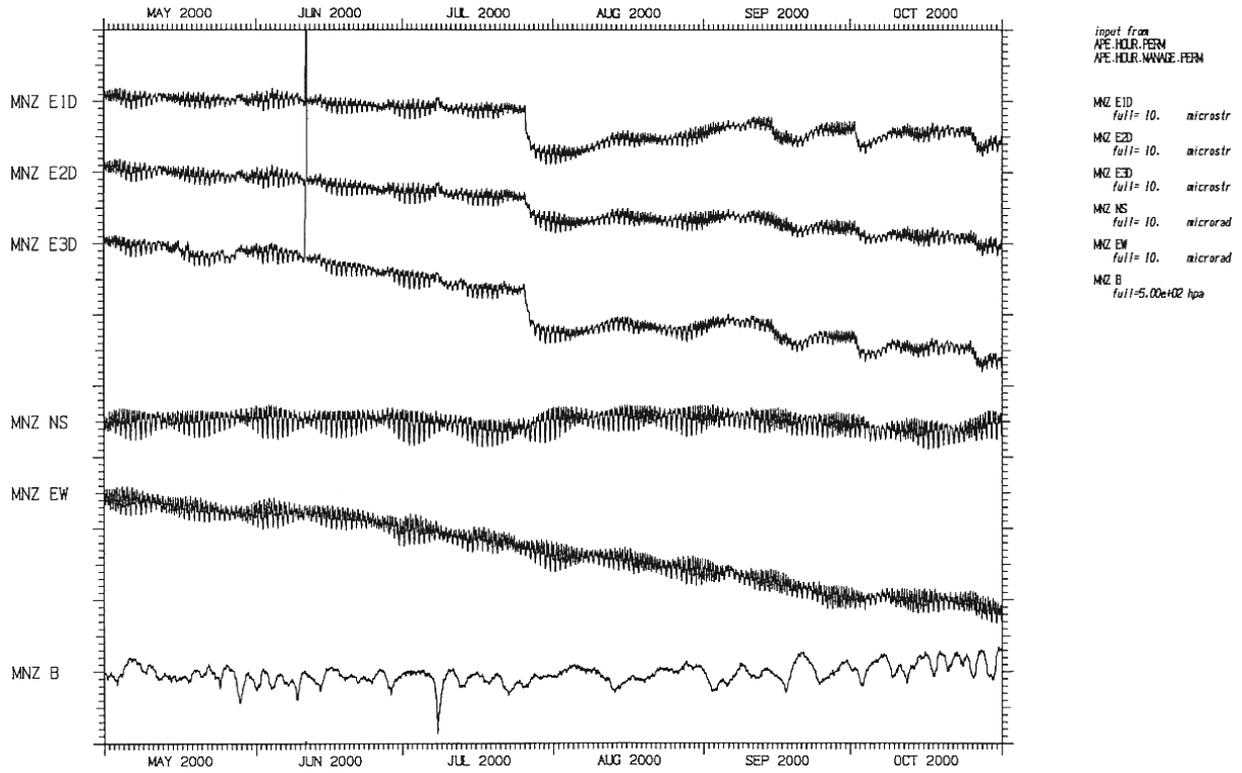
HRT 20001101 00 - 20010501 00 HOURLY DATA



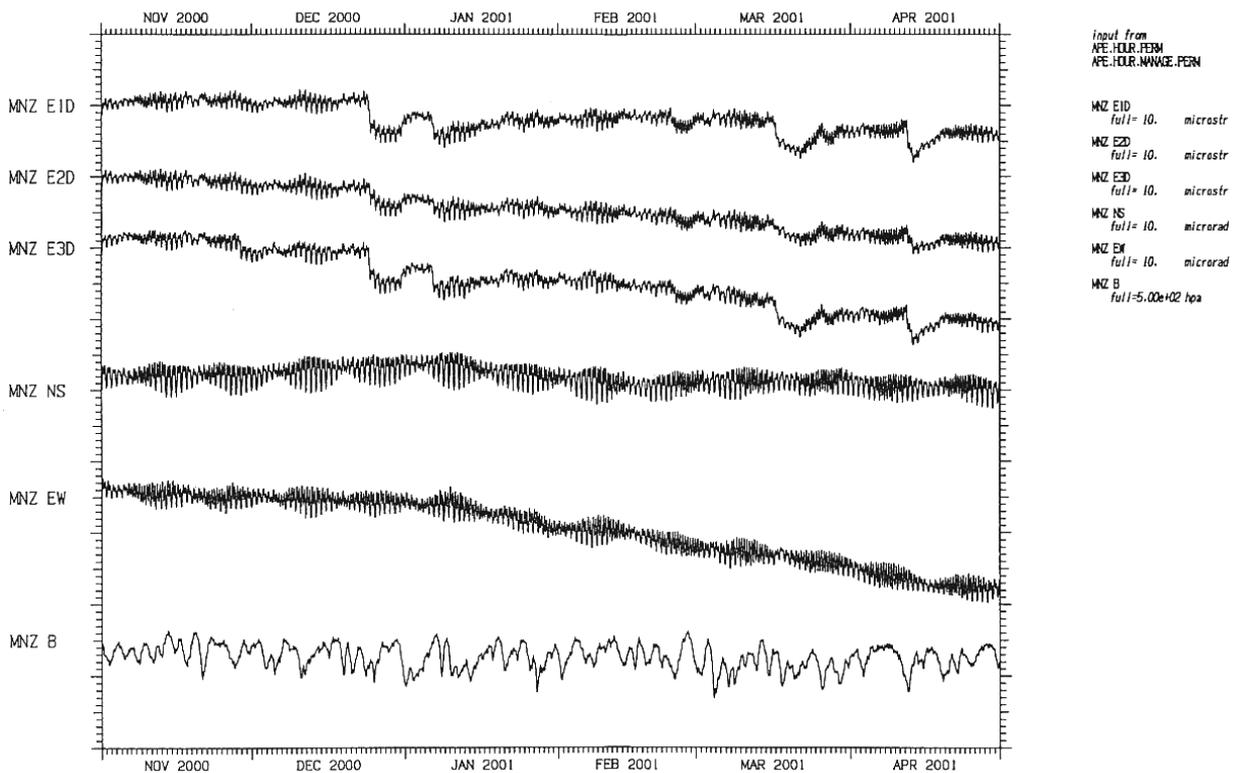
第5図 平塚のIBOSによる連続観測結果(2000年5月~2001年4月)

Fig.5 Record of continuous observation by IBOS at Hiratsuka, E2D: vertical strain detected by axial strainmeter.

MNZ 20000501 00 - 20001101 00 HOURLY DATA



MNZ 20001101 00 - 20010501 00 HOURLY DATA



第6図 真鶴のIBOSによる連続観測結果(2000年5月~2001年4月)

Fig.6 Record of continuous observation by IBOS at Manazuru.